

第2回「胃と腸」賞贈呈さる

第2回「胃と腸」賞の贈呈式は9月21日(水)、早期胃癌研究会の例会会場で行なわれた。本賞は「胃と腸」誌創刊10周年を記念して設けられ毎年「胃と腸」に掲載された論文の中から優秀論文を選び贈呈される。

今回の入賞論文は小林茂雄・西沢護氏共著「小腸二重造影法」(「胃と腸」第11巻2号157~165頁)。

当日は村上忠重先生(東京医歯大)より賞状、賞牌等が贈られ、また青山大三先生(杏林大)から選考経過の説明と共に本論文が小腸二重造影法の standard を示したと祝辞が述べられた。



入賞者の西沢護氏(左)と小林茂雄氏(右)